



SASEBO WEEKLY

佐世保ロータリークラブ

会長・飯田 満治 幹事・古賀 巖

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 22 年 12 月 22 日

第 2,960 回例会

NO 23

《本日》会員数 75 名 (出席免除会員 24 名)・出席 52 名・免除者欠席 8 名・欠席 15 名・ビジター 0 名・出席率 69.33%

《前々回》会員数 75 名 (出席免除会員 24 名)・出席 54 名・免除者欠席 7 名・欠席 14 名・メイクアップ 13 名・修正出席率 98.53%

会長挨拶

会長 飯田 満治 君

本日の例会が今年最後の会となりました。あっという間の半年でしたが、会員の皆様の協力のもとに、無事に年末を迎えることができました。厚く感謝申しあげる次第です。



さて、本日は朝早くから相浦の陸上自衛隊西部方面普通科連隊 (西普連) で、餅つき行事がありましたので、それに出席してまいりました。若き隊員が力いっぱい餅をつき、新年を迎える準備をしておりました。西普連という部隊は、わが国の島しょ部を防衛するための即応部隊として存在いたしておりますが、厳しい訓練の毎日を送っています。色々国際情勢、特に東アジア情勢も緊迫したままの年末ですが、わが国の安全と平和が続いていくことを願う次第であります。

今年、私たちの観光業界では、HTBの例でお分かりの通り、若干回復してまいりましたが、それでも、まだまだ、厳しい状況でございます。皆様はいかがでしたでしょうか。新しい年が、いい年になりますよう、心からお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。

例会記録

○ロータリーソング「それでこそロータリー」

○卓話者

佐世保史談会副会長

「佐世保史跡探訪」編集委員長

中島 眞澄 様

幹事報告

副幹事 増本 一也 君

1. 財ロータリー米山記念奨学会

理事長 板橋 敏雄 君

本年度より普通寄付金の確定申告用領収書送付のお知らせ

(クラブ会費より一人、前期1,500円、後期1,500円の普通寄付をしております分です)

2. 国際ロータリー日本事務局経理室

2011年1月ロータリーレート

1ドル 84円 (現行82円)

3. 第2740地区ガバナー 高原 武彦 君

①ガバナー事務所年末年始お休みのお知らせ

2010年12月29日(水)～2011年1月5日(水)まで

②地区ホームページ

12月17日・20日 更新のお知らせ

4. 台南ロータリークラブ

季刊2009年冬号

5. 佐世保学園長 竹下 基 様

成人式の実施について (ご案内)

日時／平成23年1月14日(金) 13:30～14:30

場所／佐世保学園大教室

(関係委員会の方には事務局よりメール、FAXでご案内をしております。出欠の返事を事務局までお願いします。)

**6. 佐世保市長、佐世保市商工会議所会頭、佐世保地区暴力団追放運動推進協議会会長 他
暴力団事務所買い取りにかかる募金について
(お礼)**

委員会報告

■創立60周年記念行事実行委員会

実行委員長 中島 祥一 君

創立60周年記念行事実行委員会マスコミ対策会議開催のお願い

12月5日(日)にローターアクトクラブの事業を皮切りに60周年記念事業がスタートし、無事成功致しました。つきましては、今後の60周年事業を展開するにあたり、より効果的に展開する為にマスコミ対策会議を開催することに致しました。より自由闊達な意見を頂戴したいと存じます。また、構成メンバーを私の方で選抜させて頂きました。新年早々の大変お忙しい時期とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

日時／平成23年1月5日(水) 18:30

場所／富士国際ホテル

会費／2,000円

■創立60周年記念行事実行委員会

姉妹クラブ歓迎部会 部会長 福田 金治 君

12月13～15日、飯田会長ほか6名のメンバーで台南RCへ当クラブ60周年記念式典の招待状を持参し、併せて式典へ多数出席していただける様をお願いして参りました。引き続き、もう一つの姉妹クラブであるラホヤRCへ、本日セルフボックスに入れておりますスケジュール表の日程で訪問し、式典への招待状をラホヤRCの例会場でお渡ししたいと計画しております。参加ご希望の方は、期日までに出席のご返事をお願いします。

■財団奨学・米山委員会

委員長 遠田 公夫 君

(財)ロータリー米山記念奨学会へ、飯田満治会長、古賀 巖幹事よりご寄付いただきました。

(2)

[ロータリー米山記念奨学事業とは]

全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

[事業の使命]

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

■親睦活動委員会 委員長 富永 雅弘 君

先週の忘年家族会には、多数の方にご出席いただき大変ありがとうございました。親睦活動委員会、出席委員会のメンバーで会を盛りあげましたが、私たちの「不手際」で、一部の会員及び家族の方に大変なご迷惑をおかけしました事をお詫びいたします。年明けには、長寿祈願祭も控えております。委員会一同がんばりますので、多数の方のご参加をよろしくお願いします。

その他の報告

大神 邦明 君

先日の忘年家族会の抽選でテレビが当たりましたので、清風園に寄贈する事にしました。先方も地デジに対応するテレビを買う予算に苦慮しているところで、大変感謝されました。

慶 祝

親睦活動委員会 高木 友輔 君

○結婚記念月のお祝い

井手 常博・見幸	様ご夫妻 (3日)
池田 豊・秀子	様ご夫妻 (4日)
中島 祥一・和子	様ご夫妻 (8日)
松尾 慶一・富士子	様ご夫妻 (9日)
山縣 義道・良子	様ご夫妻 (13日)



ニコニコボックス

クラブ奉仕委員長 米倉洋一郎 君

飯田 満治 会長、平尾 幸一 君

山縣 義道 君、鬼木 和夫 君、中村 徳裕 君

井手 常博 君

本日卓話をしていただく中島眞澄様の話を楽しみにしています。

安福鴻之助 君、岡 英樹 君

今日の卓話をして頂く中島眞澄さんは中学時代の同級生です。早退するつもりでしたが、最後まで聞いて帰ります。

大神 邦明 君

忘年家族会で32インチ液晶テレビが当たり、喜びに湧いてましたが、周囲の強いアドバイスにより子ども施設の清風園に寄贈してまいりました。サンタのアシスタントがこの年の嬉しい締事となりました。

米倉洋一郎 クラブ奉仕委員長

富永 雅弘 親睦活動委員長

先週の忘年家族会には、多数の方にご参加いただき大変ありがとうございました。

遠田 公夫 君

過日は、KTNのゴールデンタイムに東京のタレントの玉子を引き連れ、夜の案内人として出演。ちまたでは、単なる酔っぱらいとひんしゅくでした。念の為、ロータリーバッヂははずしておきました。

井手 常博 君、中島 祥一 君、山縣 義道 君

結婚記念日のお祝いありがとうございました。



ニコニコボックス 本日合計 16,000円
累 計 376,000円

卓 話

「佐世保史跡探訪」の発刊と意義

～日露戦争当時の初代佐世保市長
渡邊 修についての報告～



佐世保史談会副会長

中島 眞澄 様

(佐世保史跡探訪編集委員長)

1. 佐世保史談会創立50周年記念『佐世保史跡探訪』発刊とその意義

- (1) 佐世保史談会は昭和33年(1958)9月27日に親和銀行本店で誕生した。その間、佐世保やその周辺に残る歴史や文化、伝承などを明らかにしてきた。研究誌『談林』などの発刊や定例の研究発表、さらに市制100周年の市史編纂事業への協力など様々な事業を展開してきた。
- (2) 平成20年10月15日には創立50周年記念として、市立図書館で早稲田大学名誉教授の記念講演、さらに本玉屋文化ホールで朝長市長はじめ多くの出席者のもとで盛大に実施した。
- (3) 同時に記念してもう一つの事業を企画した。それが『佐世保史跡探訪』の発刊である。構想から実現には3年の歳月を要した。60数名の会員の総力を挙げて取り組んできた。
- (4) 多くはかなりの年配の集団である。それでも後世に何かを残したい熱い思いは、誰にも負けないものを持っている。私たちの周りには優れた歴史遺産がある。それを市民や佐世保から出た人たちに知って貰う。それが佐世保への自信と誇りを持つことにならないか、そして未来の佐世保に生かせないか。そんな視点から副題として～歩く・見る・学ぶ ふるさと再発見～とした。市内の学校・職場・各家庭・地域・町内・PTA・歴史愛好者などでの活用を期待したい。
- (5) 市内の史跡500余を網羅、18地区(合併6町も含む)、48のコース、菊判各ページ総カラー、1コース2～3時間で探訪し、コース地図も入れた。初版2,000部、増版1,000部、定価は1,800円。発刊までに多くの日時を要した。何度も校正をした。各自が持ち味を発揮してきたと思う。
- (6) 販売には素人の集団なのでかなりの気を遣った。9団体の後援、56の事業所の協賛、補

助を頂いた団体等、多くの人々の応援や協力者がいた。7月17日販売開始、それまでに会員作成の発刊案内のチラシを2,000部、9月に増刷後2,000部作成し配布した。夫々が動き回った。あらゆる人脈や組織を生かした。東京や福岡にも出かけた。

- (7) 金明堂で8月29日のベストセラーNo.1になったのを皮切りに10月下旬まで常にベスト4以内を維持した。今もなお購読者が続いているという。市の広報に市長日記が掲載されたことも幸いした。在庫も多くない。改めて人の大切さ、人との関わりのおお切さ、感謝の気持ちのおお切さを思う。

2. 日露戦争当時の初代佐世保市長 渡邊 修についての報告

渡邊 修は、明治35年8月10日に行われた衆議院議員に、愛媛県郡部より選出されていた。同月11日、佐世保市会で市長候補に選出されており、就任をその選挙の最中、富田愿之助(1864~1927)に打診されたようである。当初は『渡邊修履歴書』に、8月29日に依頼本免官という記録があったので議員を辞めたと思っていた。しかし、明治35年12月10日、衆議院の懲罰委員会に属しており、兼職していたことがわかった。

日露戦争が急を告げていた時期だった。もし戦争になれば市長として重要な役割を担う立場でもあり、政界でも顔が効き、力のある渡邊 修を口説いたのかも知れない。それほど当時困難を乗り越える人材はいなかったと思われる。なお、修は長崎市の市長候補にも挙がっていたと報道されている。

就任後は市内のインフラ整備が急務であった。病院・道路・水道・学校建設など難問が山積みであった。その上、海軍との折衝や県への稟請が続いたと思われる。それに増して衆議院議員の仕事もあり、多忙な日の連続だった筈である。もちろん32歳の箴島助役の役割も大きかった。

県土木課の資料に『佐世保新市街一件』(明治36年)がある。市長名で1年間32件の県への提出文書があり、その内28件が里道改修や削除、予定道路の変更など、道路に関する稟請

となっている。中には河川の工事なども含まれるが、急速な発展に追いつかず困っている状況が見えている。

さらに追い打ちをかけているのが人口増であろう。年間4~5千人もの人口が増えており、当然、住宅は不足、上下水道も不十分、ペストやコレラ等の伝染病も流行ったようである。病院も不足、子どもの行く学校も飽和状態だった筈である。きっと不衛生な街であったのだろう。

佐世保市長の軍人招待は、明治36年8月9日万松楼で行われている。市内の有力者や鎮守府の高級軍人の接待や招待も、頻繁に開催したと思われる。その関係には気を遣ったようである。そういう矢先の明治37年(1904)2月10日、日露戦争が起きた。佐世保がその補給基地となった。10年前の日清戦争とは規模も人員も大きな開きがあった。

帝国陸海軍の各地での勝利で湧き、市民挙げての祝賀会や提灯行列の催しを行うことになっていた。市長は艦隊の凱旋記念歓迎会をしばしば行っている。佐世保が宿命的に海軍と共存する素地はこの時以来のことであろう。明治37年12月の記事はまさに佐世保の実態を表わしている。

渡邊 修市長は明治39年4月27日辞職している。市制の草創期の重要な時、戦争が終結し、これから彼の力を発揮する場面だった筈だが、留任せずさよならをしている。これについて各新聞は多病と一身上の都合などの外、実業界に入るのではとの報道をしている。

※紙面の都合上、一部割愛しております。

忘年家族会の写真は次号に掲載いたします。

次回例会予告

12月29日 休会
1月5日 クラブ協議会

(今週の担当：松尾 文隆)
(カメラ担当：高橋 理一)

クラブ会報委員会

委員長 松尾 文隆 委員 石井 正剛・幸良 秋夫
副委員長 納所 佳民 三浦桂一郎・高橋 理一